

令和5年度

予算編成に対する要望書

フォーラム目黒(立憲民主・無所属の会)

はじめに

令和元年度からコロナ禍への対応に追われる日々が続いていたが、少しずつ収束の兆しが見え始め、徐々にアフターコロナの社会を見据えた区政運営にシフトしていくことが予想される。

政府は場当たりの対応を繰り返していたが、目黒区政では今までにない取り組みやデジタル技術の活用など、様々な試行錯誤が行なわれ、挑戦する風土が醸成されつつあることは会派として評価している。

また今年度は新たな基本計画、財政計画のスタート年でもあった。先が見えず、予測困難な時代に突入したと言われる中で、目黒区基本構想に掲げられた「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる」というキャッチフレーズの下、失敗を恐れず、縦割り行政を打破しながら、時代の変化に対応した未来志向の区政運営が行なわれることを願い、以下、フォーラム目黒の要望を申し上げる。

■ 23 特別区の自治について

- ・特別区に入るべき税収が国の不合理な税制改正により一方的に奪われ、特別区民が本来受ける行政サービスが今後はさらに低下することを区長会として幅広く広報活動せよ。
- ・特別区のスケールメリットを活かした業務効率化を進めよ。

■ 財政

- ・老朽化した区有施設の更新には相当額が必要であることを、ことあるごとに区民に周知されたい。
- ・アフターコロナの情勢の変化に応じ、スクラップの部分にも積極的に取り組み、事務事業を見直しせよ。

■ 企画経営

- ・情報発信に際しては届いたかどうかを意識するようになってきたことは良いが、情報が届いていない区民がまだ多くいる。届けたい相手が誰で、どのようにすれば届くかを意識し、更なる工夫をされたい。
- ・公式 LINE の活用を更に進められたい。複数アカウントの作成やセグメント配信により、相手に合わせた情報が効果的に届くよう改善されたい。
- ・スマホ上での行政手続きや「書かない窓口」、ICT 化の推進により、人にしかできない企画や相談といった業務に集中できる環境を整えられたい。
- ・中学校の統廃合や施設の複合化による跡地に関しては単なる売却ではなく、特色ある文化・スポーツ施設など、区政のニーズに合わせて効果的に活用されたい。
- ・目黒の全ての地域で芸術文化を感じられるよう、目黒区全域を芸術文化の香りあふれる街へ進化させ、将来にわたり選ばれる街目黒を目指せ。

■ 総務

- ・評価制度での工夫ならびに幹部職員や若手職員からの積極的な発信により、挑戦する風土を醸成されたい。

- ・デジタル技術に関して、外部委託ばかりではなく庁内でも技術や知見を持った職員を育成されたい。
- ・職員が積極的に地域の現場に赴き、区民の声を施策に反映できるよう、職場の意識を高めよ。
- ・目黒区パートナーシップ宣誓制度の創設に向けて具体的な検討を始めよ。
- ・広島派遣事業に関してはタブレットも活用して現地参加者だけでなく、多くの児童生徒がリアルタイムで平和について学べるよう工夫されたい。
- ・ウクライナの動乱を機に、平和に関して学ぶ機会をさらに創出されたい。
- ・包括外部監査を復活し、コロナ禍の福祉運営や不正請求について検証せよ。

■ 危機管理

- ・区職員の通勤および勤務時間中の自転車利用時におけるヘルメット着用を進めよ。
- ・地域防災計画の策定にあたっては、東京都の方針を横引きするだけでなく、目黒区の特性に鑑み、国や都の指示を待つことなく対応できるよう主体的な取り組みをせよ。
- ・発災時には初動で事前の想定を超えた事態にも対処できるよう、柔軟な体制を敷くこと。
- ・富士山噴火の降灰に対する処理を早急に検討されよ。

■ 区民生活

- ・コロナを機に、各種イベントについての意義や効果を見直し、ビルドアンドスクラップを進めよ。
- ・健康寿命の延伸のために、区内在住高齢者のスポーツ施設利用料を無料化せよ。
- ・緑が丘文化会館等、住区センター以外の区有施設への Wi-Fi 環境の整備を進められたい。
- ・スペースや時間などの観点で、区有施設の柔軟な貸し出しを検討されたい。

■ 健康福祉

- ・目黒区特定健康診査に軽度認知症検査を追加せよ。
- ・国の総合経済対策「子どもの新たな居場所をかなえるモデル事業の創設」「経済的に困難を抱える子どもへの支援」を活用し、フードバンク支援の拡充、食材等の提供を行う団体等へ支援、新たな子どもの居場所作りのモデル事業に取り組みたい。
- ・母子保健の充実及び将来のパンデミックに向けて、保健師のスキルアップ及び職場環境の向上に努めよ。
- ・保育園において、緊急一時預かりの拡充に努めよ。
- ・保育園や学童保育クラブにおける、障害児や医療的ケア児の更なる受け入れの拡大を検討せよ。
- ・区立の保育園の堅持に努められたい。
- ・地域で自立生活をしている障害当事者への家賃補助を検討せよ。
- ・高校卒業後、18歳以上の障害を抱える方の居場所づくりを図られよ。
- ・親の経済状況や家庭環境により、苦境に陥る若者に対して、ヤングケアラーを含め相談窓口を拡充せよ。
- ・重層的支援体制整備事業やコミュニティソーシャルワーカーの活用により、制度の狭間で困りごとを抱え続けている方への支援を充実させよ。

■ 産業経済

- ・「生活応援券」の経験を活かし、区の産業振興のために前例にとらわれず、果敢な挑戦を続けられたい。
- ・令和4年度のデジタルを活用した生活応援券を含め、区民と商店街の利便性向上のためにデジタル目黒を進化させよ。
- ・区の事業に参画する事業者を増やされたい。
- ・空き店舗について、民間の力を活用せよ。

■ 都市整備

- ・祐天寺の街づくりに当たっては、街に多様な人々が関わっていることを念頭に、幅広い住民や事業者の声に耳を傾けて進められたい。
- ・現在の生産緑地所有者に対し、市民農園運営事業者への貸付などといった手法を周知し、緑地の確保・保全に努めるとともに、区民農園の拡大を図られよ。

■ 環境清掃

- ・現在の羽田新ルートは固定化しない方針で進んでいるが、この案を堅持できるよう国に要望せよ。
- ・ごみ集積所において、ねずみ・カラス対策の徹底を図られよ。

■ 教育

- ・教育施設において、内閣府による事故防止のためのガイドラインの遵守を徹底せよ。
- ・中学校のクラブ活動の地域移行に際し、早急に方針を固められたい。
- ・小中学校における一人一台端末の利活用にあたり、教職員の負担軽減及び質の向上を図られよ。
- ・小中学校における一人一台端末の利活用にあたり、新規アプリケーションの導入に関しては現場での裁量の余地を拡大し、現場に即した教育が行えるようルール改定を行なうこと。
- ・エクセル・ワード・パワーポイントはスプレッドシートの利用から、子どもたちの将来を鑑み、Office アプリケーションでの運用に変更されたい。
- ・特別支援学級を見直し、インクルーシブ教育の拡充を図られよ。

以上